

動画メディア「mamatas（ママタス）」がママの環境意識リサーチ

SDGsについて 25%のママが「全く知らない」と回答

一方で、9割近くのママが環境に配慮した行動を日々実践している。

C Channel株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:森川亮)が運営するママ向け動画メディア「mamatas（以下、ママタス）」(総フォロワー数105万以上・<https://www.mamatas.net/>)の「mamatas labo（以下、ママタスlabo）」では、「ママの本音・希望・おかれている現状」といったリアルな情報を社会に届けるため定期的にアンケート調査を実施し、その結果を社会にむけて発信する活動をしています。今回はママタスのInstagramフォロワーに「あなたの環境意識について教えてください」としてアンケート調査を実施しました。

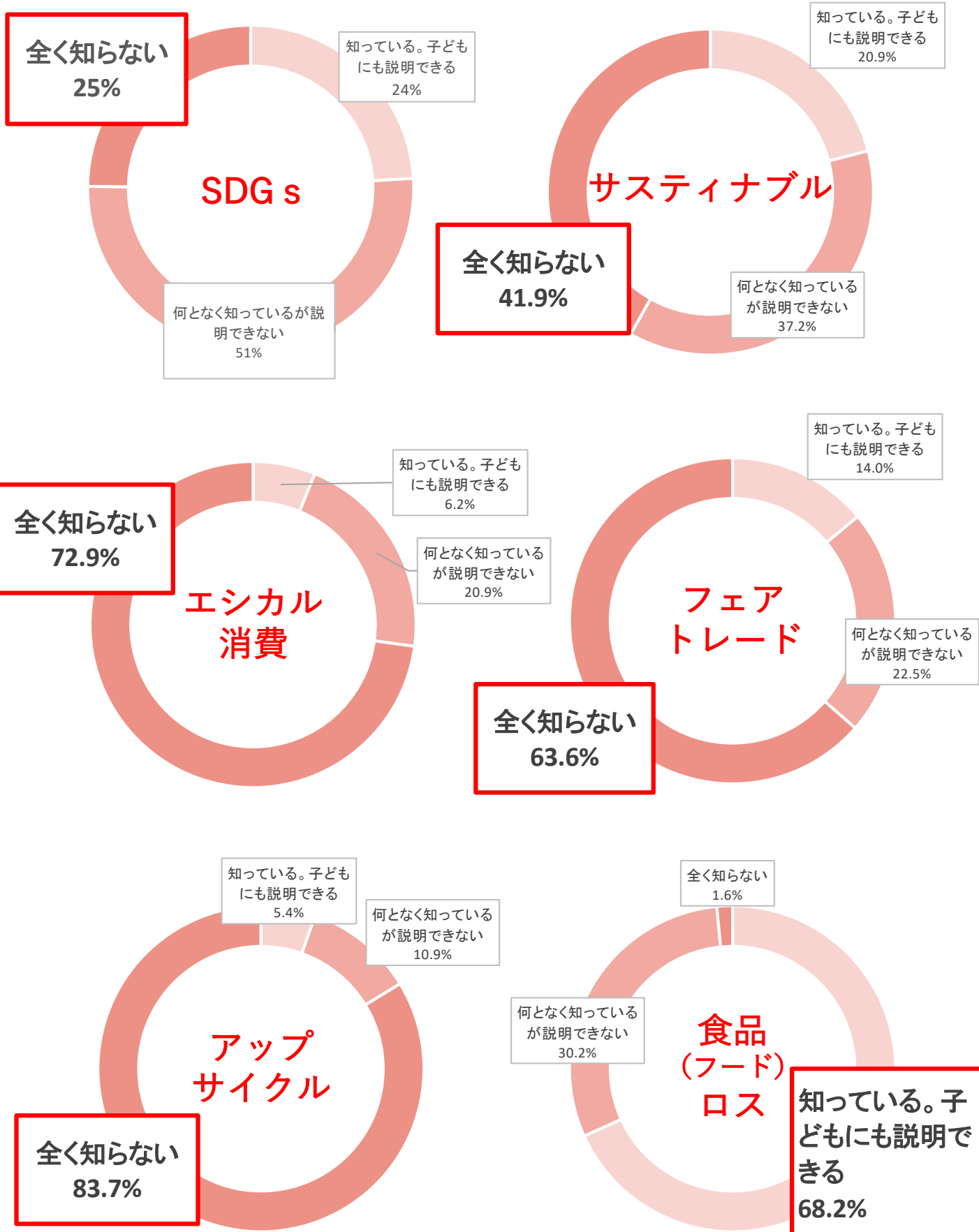
調査方法：Googleフォームを利用したインターネットアンケート 実施期間：2021年6月7日～2021年6月18日 アンケート名：「あなたの環境意識について教えてください！」 調査対象：「ママタス」Instagramフォロワー 回答者数：129名 回答者属性：女性（100%）

<TOPICS～アンケートの結果から～>

- ・「SDGs」について、「知っている。子どもにも説明できる」と回答したママは24%で、「全く知らない」と答えたママとほぼ同数。
- ・「エシカル消費」については72.9%が、「フェアトレード」については63.6%が、「全く知らない」と回答。
- ・**もっとも認知度が高いのは「食品（フード）ロス」**。68.2%が「知っている。子どもにも説明できる」と回答し、「興味あり」と答えたママも81.4%と関心も最も高い。
- ・「アップサイクル」は認知度が低かったが（83.7%が「全く知らない」と回答）、意味を知ると47.3%が「興味あり」と回答。「食品ロス」について関心を集めている。
- ・「ペットボトルや缶は、ゆすいでから資源ごみに出す」「スーパーにエコバッグを持参」は、**90%近くのママが実践している**。

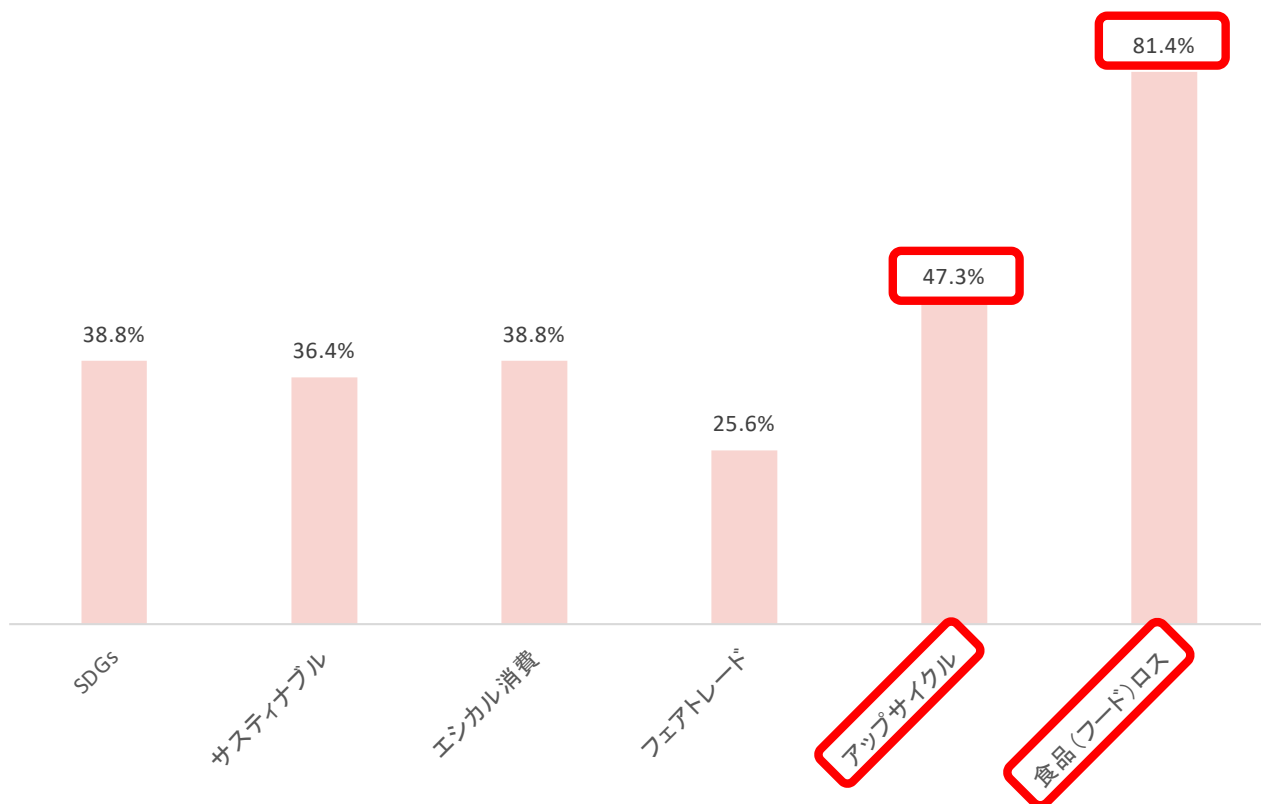
Q.この用語について知っていますか？

(各用語について、「知っている。子どもにも説明できる」「何となく知っているが説明できない」「全く知らない」の3択で回答)



Q.それぞれの内容について、興味があるものを選んでください。

下記の説明を読み、興味がある項目を選択（複数回答）



SDGs

持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットで構成されている

フェアトレード

途上国の生産者と先進国の消費者が対等な立場で行う、公正な貿易

サステイナブル

持続可能な～の意味。環境、社会、経済を将来にわたって持続していくこと

アップサイクル

不用品や廃棄物を、より良い商品につくり変えて価値を高めること

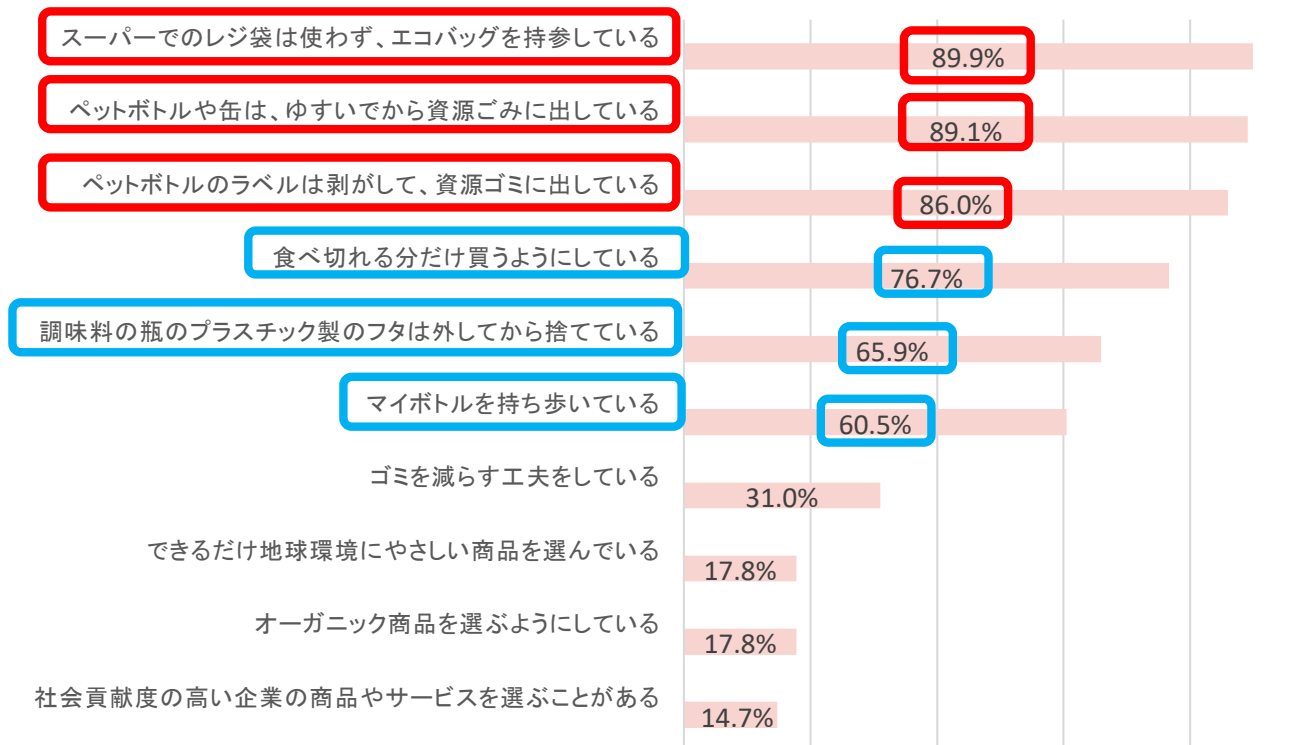
エシカル消費

地球環境や社会、人に対して配慮された商品やサービスを選び、購入すること

食品(フード)ロス

本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと

Q.日々実践していることを教えてください。(複数回答)



Q.その他に実践していることがあれば教えてください。(自由回答)

- こまめに電気を消す、水を出しっぱなしにしないなど小さな事だけど、**子どもと一緒に当たり前**の事として続けている。(大分県・0歳、4歳、10歳児のママ)
- エアコンの設定温度。**環境に優しく、いかに快適に暮らすか**。(東京都・0歳、2歳児のママ)
- フードロス対策として、**賞味期限の早い順番から買うようにしています**。値引き商品があればそれから買います！環境もお財布にも嬉しい♡(和歌山県・2歳、10歳児のママ)
- 洗濯洗剤を石鹼素材のものにして柔軟剤を使用しない**。お風呂、トイレ、食器洗剤も石鹼素材やクエン酸重曹などを選んでいきます。(千葉県・4歳、8歳児のママ)
- 無駄なゴミを出さないよう、**無駄に買い物はしない**。(長野県・0歳児のママ)
- 9歳の息子と一緒にゴミの分別、スーパーで食品を選ぶ際、すぐ使うので賞味期限が近くて良いので手前から取っています。数日前、テレビでたまたま息子と食品ロス特集を拝見し、毎日廃棄される量の多さに驚愕しました。一番は家庭から出る量が多いとの事で、私もたまたま見て初めて知りました。**メディアで訴える事はとても大事ですね**。(岩手県・1歳、9歳児のママ)
- 段ボール、アルミ缶、牛乳パック、食品トレー等々はゴミには出さずリサイクルに出すようにしています。ゴミとして出すより手間ですが、**まずは私にもできる事から**と思っています。(東京都・0歳、2歳、10歳、12歳のママ)

<ママタス編集部による解説>

いま世間にはSDGs関連のコンテンツが溢れているが、子育てに忙しいママ達には、SDGsがどういうものなのか、自分たちにどのような関係があるのか、といったメッセージが届いていないことが明らかになった。一方で、ワードとしては知らなくても、多くのママは環境に配慮した行動をとっており、環境に関する意識が低いわけでは決してない。子どもの未来のために自分たちができることは何なのか。ママタスもママたちと共に学びたい、と思える集計結果となった。

mamatas labo(ママタ斯拉ボ)とは

mamatas labo

「mamatas labo(ママタス ラボ)」は、「ママをもっと自由に」をスローガンに自分らしく生きるママを応援するSNSメディア「mamatas(ママタス)」が行う社会貢献活動。ママパパたちの本音、社会に届かない声や思いを社会に伝えることを目的とし、Instagramの機能を用いて世情の変化に応じた即時アンケートができるのが強みで、結果はすぐにニュースリリースとして発信。活動を通して子育てを頑張るママパパ、子供たちにとって今日より明日が、今よりちょっと先の未来が自由で楽しい毎日になることを願って活動中。

調査例)

「特別定額給付金」についてママに調査～10万円給付金を貯蓄する人は8割、世帯主への一括給付を妥当だと考えるのは51% (2020年4月28日)
緊急事態宣言地域に居住するママへアンケートを実施～44.7%の世帯が収入減少、81.3%が今後衣類購入を減らす予定～ (2020年4月15日)
臨時休校1週間、自宅で待機が74%～最も利用料が増えたのは教育教材・サービス～ (2020年3月9日)
1200人のママに大調査。小泉進次郎氏の育休は「中途半端」が75% (2020年1月21日)

mamatas(ママタス)とは

mamatas

「ママをもっと自由に」をスローガンに自分らしく生きるママを応援する動画メディア、ママタス。子育てをしているママ自身が「もっと、のびのびと」「自分らしく」輝けるよう、社会の固定概念の変化や、そこからの解放に働きかけることで社会貢献を果たすことを目指す。日々のSNS無料動画マガジンでの情報発信だけでなく、ママの本音を社会につたえる「ママタスlabo」、保育士の業務軽減を目指す「保育園応援プロジェクト」、便利な商品がSNSからそのまま購入できるセレクトSHOP「ママタスSTORE」などを展開している。

*2018年4月にサービスを開始して以降、ローンチから11ヶ月時点でInstagram内のママ向けアカウントで国内フォロワー数No.1(※1)を達成。SNSファン数は延べ105万人を超える等順調に成長。

(※1)Instagramのプロフィールに「ママ」「子育て」「生活」が含まれる国内企業アカウントのフォロワー数より (2021年5月時点ユーザーローカル調べ)

【公式SNS・WEB】

SNS

- Instagram : <https://www.instagram.com/mamatastv/>
- Facebook : <https://www.facebook.com/mamatastv/>
- Twitter : <https://twitter.com/mamatastv>
- YouTube : <https://www.youtube.com/c/mamatastv>
- LINE公式アカウント(友だち登録) : <https://line.me/R/ti/p/%40bcn8841c>
- Pinterest : <https://www.pinterest.jp/mamatastv/>

WEB

- WEB : <https://www.mamatas.net/>

このページに掲載されているプレスリリースその他の情報は発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

【報道関係の皆様からの問い合わせ先】

C Channel株式会社 広報担当 福永

TEL : 03-6453-6893 FAX : 03-6453-6894 Email : press@cchan.tv